

国立極地研究所プロジェクト研究一覧

番号	研究課題名 (※)	研究業務内容	左記研究業務の 年限と募集人員	代表者・連絡先
KP301-①	極域宙空圏総合観測に基づく太陽地球系結合過程の研究	本研究課題では、南極昭和基地大型大気レーダー (PANSY) を中心に、極域でのライダーや各種光学観測、各種電波観測と関連ネットワーク観測データ、モデリングを駆使して、地表から超高層大気までの全大気圏の上下結合および極域から中・低緯度域までの領域間結合過程を明らかにする。 今回の公募では特に、大気重力波の励起・伝搬・消散とそれに伴う大気大循環の駆動や気象・気候への影響について、観測データ・客観解析データ・シミュレーション結果等の解析を通じて研究できる能力・経験を持つ研究者が望まれる。	2021年3月まで (2年間) 1名	宮岡 宏 教授 (*) 042-512-0662 miyaoka@nipr.ac.jp (*) 平成 31 年度より代表者交代
KP301-②	極域宙空圏総合観測に基づく太陽地球系結合過程の研究	本研究課題では、南極域や北極域に展開されている地上観測ネットワークや人工衛星データ、シミュレーション技術等を用いて、オーロラ現象など、太陽風—磁気圏—電離圏—大気圏結合系に生起する現象の総合的な研究を行う。 今回の公募では特に、地上観測データとあらせ衛星や MMS 衛星との共役データ解析を進められる能力・経験のある方、あるいはオーロラや宇宙天気予報に関連したシミュレーション研究を実施できる能力・経験のある方が望まれる。	2022年3月まで (3年間) 1名	宮岡 宏 教授 (*) 042-512-0662 miyaoka@nipr.ac.jp (*) 平成 31 年度より代表者交代
KP305	南北両極のアイスコア解析による気候・環境変動の研究	本研究課題では、南極や北極で掘削されたアイスコアから過去の気候・環境変動を復元する事により、それらの変動メカニズムの解明を目指す。アイスコアから気候・環境変動に関する情報を最大限に引き出すため、連続融解分析装置 (CFA) など、国立極地研究所が保有する様々な分析装置を駆使して分析を行うとともに、必要に応じて分析法の改良・開発を行う。アイスコア・データの解釈のため、大気や雪氷表面過程の研究も合わせて実施する。また、必要に応じて南極やグリーンランドでアイスコア研究に関連したフィールドワークを実施する。	2022年3月まで (3年間) 1名	東 久美子 教授 042-512-0674 kumiko@nipr.ac.jp

※ 各研究課題に係る業務の他、関連する研究プロジェクト等の業務に従事する場合があります。